



青葉みらいづくり大学校 2022

# 青葉みらいづくり通信



## 青葉みらいづくり大学校 第3回

青葉みらいづくり大学校は、地域の「困った!」を持ち寄って、みんなのアイデアで「いいね!」に変えるまちづくり講座です。第3回目の講座の目的は、自分の地域の取組が他の地域にとっても課題解決につながることを実感してもらうことでした。前半は、区内の代表的な3つの事例の紹介を聴き、そこから参考にしたい「学びポイント」は何かを考えました。後半は、グループワークで受講生自身の地域の良い取組を出し合い、それぞれの取組の成功要因は何かについて意見交換しました。



事例紹介の様子

## 地域の事例から学ぼう!



奈良町連合自治会  
関根会長

### 地域防犯パトロール 奈良町地区

毎月27日の交番の日に自治会・警察・消防・PTAとの合同の防犯パトロールを実施。近隣の町田市成瀬台町内会等との合同のパトロールなど、行政区域を超えた地域住民の連携にも取り組んだ。親子や中学生の参加など多世代の取組で参加者も年々増加している。



荏田西地区社会福祉協議会  
松山会長



### 荏田西憩いの広場

荏田西地区

荏田西コミュニティハウス、連合自治会、民生委員児童委員協議会、友の会のサポートで地区社会福祉協議会が運営。憩いの広場と近隣の公園でラジオ体操を週4日、年間約200回開催している。ウォーキングや昼食会にも利用。住民同士が顔見知りになり、健康観察の機会となっている。



### 焼き芋会 青葉台地区



「桜台公園」を知ってもらうために、愛護会や商店会、パークレンジャーが準備し活動開始。連合の区域内にある5つの小学校と近隣の2つの小学校も参加。600人を超える参加者と200人のスタッフで運営し、自治会と商店会、行政が連携し様々な課題に取り組んでいる。



青葉台連合自治会  
山川会長

## わが街のマネしてポイントは?

### 上手くいっているポイントどんなところ?



### グループワーク

このワークでは「自分の自治会活動でうまくいっている事業事例」を付箋に書いてそれぞれに発表してもらいました。良いところ自慢なら任せてと、皆さん熱心に取り組まれ

ていました。またその事例について「自治会以外の団体との連携」「次世代の参画」「地域住民のメリット」「地域への波及効果」の4つの成功ポイントとの関連を分析し意見を出し合い、「長く続いている活動は連携している団体が多い」など、活動を継続するために必要な要素に気づくこともできました。講座終了後もグループワークの盛り上がりそのままに、話が弾んでいる受講生の輪がいくつもありません。

### グループ発表

#### 見守り・居場所

地域ではさまざまな取組が行われている  
↓  
連携することで多世代の居場所づくりを

#### 担い手

プレ敬老会をイメージしたオヤジの会が発足  
↓  
ボランティア組織として地域で活躍中

#### 防犯・防災

パトロールや防災訓練は実施しているところが多い  
↓  
次のステップとして何が必要か  
団体間の連携  
子どもの参加が親に波及



## 自治会長に聞いてみよう！

### 谷本連合自治会長 飯田 敬さん

#### 地域活動を続けるコツは？

体育祭など、地域の色々な活動を何とかやっていかなければという気持ちで持続している感じですね。誰かが引っ張っていかないといけないですからね。

#### 自治会活動で嬉しかったことは？

藤が丘駅前のメイン通りの清掃活動をしています。地域の皆さんが参加して、協力して下さったのが嬉しかったですね。各町内会でも地域清掃に取り組んでいただいていることに感謝しています。

夢を持ち続けることが信条です

#### 地域の一押しスポットは？

野球やサッカーのグラウンドや様々な活動のできる多目的広場もあり、地域住民の憩いの場でもある谷本公園ですね。

#### 好きな言葉・信条は？

「夢」です。できないこともあるけれど、いつまでも持ち続けたいと思っています。



YAMOTO



やさしい笑顔の飯田会長

### 恩田連合自治会長 久保田 実さん

#### 自治会活動で嬉しかったことは？

詐欺などの防犯活動を地元の学生たちと一緒に開催した時に、中学生が「ばあちゃんが騙されそうになった時に」と親しみを込めて発言していた。地域で育った子どもたちがいつか地域に戻ってくる。そこを意識して自治会活動をしています。

#### 地域の一押しスポットは？

こどもの国線恩田駅。駅前に水田や畑の田園風景が広がっています。自然を維持していくのは大変ですが、この地域に住んでよかったと思ってくれると嬉しいです。

地域を大切にしたいです



ONDA



「新旧の意見を尊重したい」と久保田会長

#### 地域活動を続けるコツは？

新規住民も多く、夏祭りなどでは上手に新しい意見を取り入れながら新旧の良い交流ができています。オンラインを取り入れる等、新しい意見と従来の意見も尊重していかなければと思います。

発行年月日：2023年1月21日

発行・編集：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 NPO 法人まちラボ

問合せ：青葉区役所 区政推進課 地域力推進担当 045-978-2286 ao-chiikiryou@city.yokohama.jp



企画・運営

NPO 法人まちラボ

NPO 法人まちラボは、学ぶ・楽しむ・きっかけづくり、集う・つながる・居場所づくり、助け合う・あたたかな関係づくり 誰もがまちづくりの当事者として参画できる地域社会を目指して活動しています。